

見直される木造耐震建築

上西教授のTIP構法

九月一日は防災の日。毎年、この時期、各地で地震などに対する避難訓練が行われる一方、各家庭では非常用食料の準備や入れ替え、家具の転倒防止金具の取り付けなどが行われる。災害への備えは大いに必要だし、やり過ぎることはな

のだが、家屋そのものについての対策は一般に意外に不十分なのではないか。ところが、最近東京工芸大建築学科教授の上西秀夫さんが開発した木造住宅の

耐震構法が注目され、それを取り入れた住宅が登場した。上西さんに話を聞いた。上西さんに話を聞いた。上西さんに話を聞いた。

この構法はTIP構法と

呼ばれる。三角形(Trangular)接合用(Incorporate)合

日本のような地震国で、その理由を上西さんは「建築業界の保守性のせい

「斜め張りなので柱と

「斜め張りなので柱と

下地板斜め張りが特徴

板(Plywood)を用

野利器氏が唱えていた。また

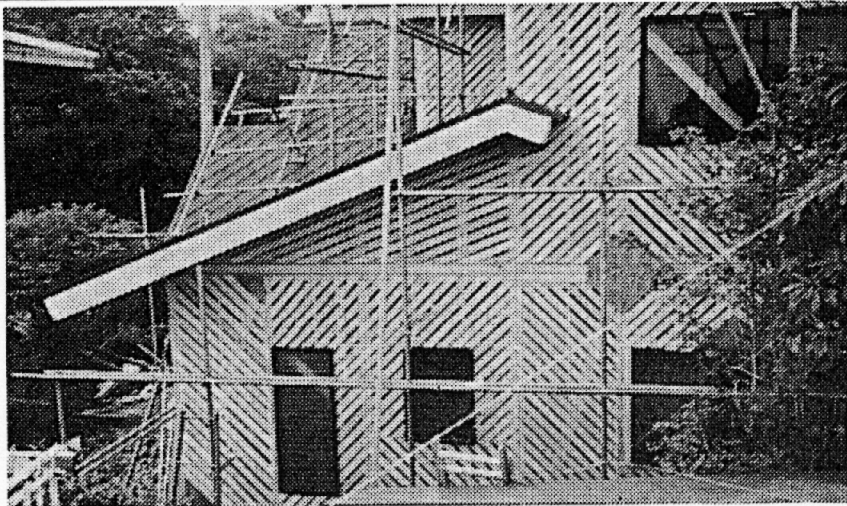
氏は耐震実験で斜め張りの

有位性を実証しており、上

西さんが行った、構造用合

「斜め張りは一見複雑な作業に見えるが、下地板をどこに、何枚、どういう形で用意すればいいかは計算できるから、あらかじめ力

「今回の構法も学問的にどうというより、世の中の役に、特に注文主の役に立てればと思っ



TIP構法で建築中の住宅



上西秀夫東京工芸大教授

建築基準法は下地板の張り方の参考例として水平打ちだけを挙げている。「神奈川県横須賀市に造られたTIP構法の二号住宅では基準法上問題はないと

